

●ダブルウィッシュボーンフロントサスペンション(1)

新しいゴールドウイングは「幅広いシーンでより自在に操りやすい運動性能と快適性」を実現するため、以下の項目を目標に、フロントにHonda独自の二輪車用ダブルウィッシュボーンサスペンションを新開発しました。

乗り心地の向上と軽快なハンドリング

一般的なテレスコピック式サスペンションでは、路面からのショックを吸収する際にアウターチューブとインナーチューブのスライド、また両者のたわみによる摺動抵抗が発生します。これに対し、ダブルウィッシュボーン式ではショックを吸収するクッション機能と転舵機能を分離しています。両者を上下2つのアームで支える構成とする事で、クッションの摺動抵抗を低減させ、路面からハンドルに伝わるショックを従来よりも約30%低減しました。

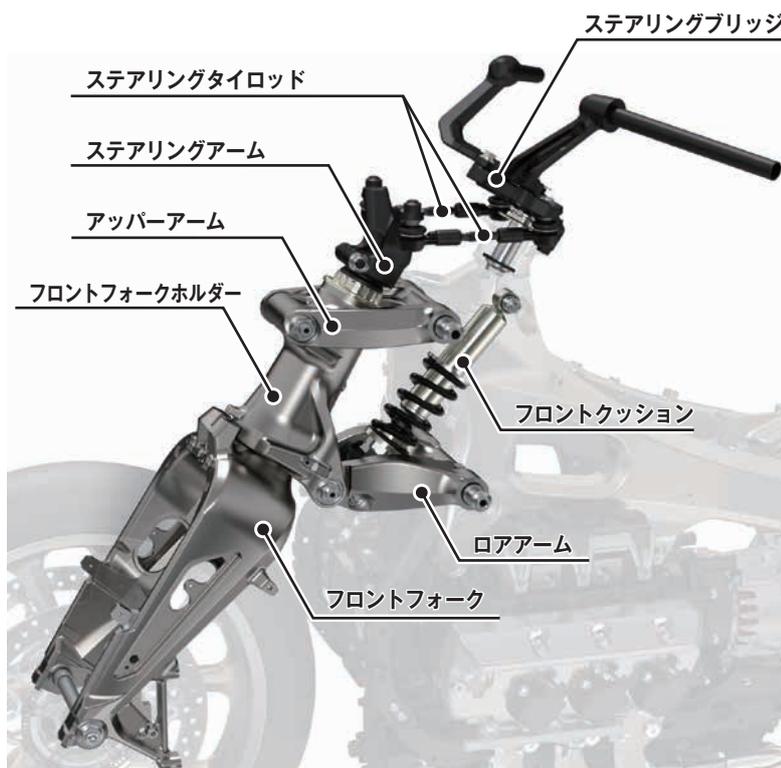
また、この構造とすることでハンドルで操作するフォーク部の慣性マスを40%以上低減し、走行時のハンドリングをより軽快にしました。さらに、このリンク式の構造をとるにあたって、全ての軸受け部にベアリングを採用する事でストローク、転舵ともさらなるフリクションの低減に寄与。

加えて、タイヤの操舵軸とハンドルの転舵軸双方をステアリングタイロッドで繋ぐ構造*とし、完成車に対するライダーの理想的な位置を基準として、自然な操作フィールが得られるハンドル軸位置を設定しました。

これらにより、1695mmのホイールベースがもたらす安定感を活かしたまま、切り返しや進路変更など、市街地での頻繁なハンドル操作にも軽快なハンドリングで応え、加減速時や路面ギャップによるショックの少ないシルキーな乗り心地を提供します。

※ 特許出願中

■ダブルウィッシュボーンフロントサスペンション構成図



■ダブルウィッシュボーンフロントサスペンションフリクション低減イメージ図

